

複合構造委員会「FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会」（H218委員会）の委員募集

応募締切日：2017年5月12日（金）

複合構造委員会では、下記の委員会を発足させることになりました。積極的に活動して下さる会員の参加をお願い致します。

記

1. 委員会名称：FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会（H218委員会）
2. 委員長：西崎 到（国立研究開発法人土木研究所），幹事長：橋本国太郎（神戸大学）
3. 公募する委員の数：20名程度。応募者数によってはご希望にそえない場合もございますので、あらかじめご承知おきください。
4. 活動期間：平成29年6月から2年間を予定。なお、旅費、交通費は支給されません。
5. 活動方法：2～3カ月に1回程度委員会を開催する。また、必要に応じて調査・実験データ取得を分担して実施する。

6. 活動の目的

土木学会・複合構造委員会では、これまでにFRPに関するいくつかの小委員会活動が行われ、多くの成果が積み上げられてきているが、実際のFRP複合構造物を設計、施工、維持管理するときに、現在も解決すべきいくつかの課題が残されている。これらの課題のうち、学術的側面だけでなく実務的な側面も含めたいくつかの技術的事項に関する課題には、多方面からより多くの関係者を募って集中的な調査研究を行う方が望ましい項目がある。特に、設計技術者がFRP材料を構造材料の一つとして認識でき、FRP複合構造物がより広く普及するために、FRP複合構造物の設計、施工、維持管理方法がどうあるべきか、また、2014年に改定された複合構造標準示方書において追加されたFRP関係の記載が、将来はどうあるべきかなどについて幅広く議論する必要がある。さらに、構造材料として優れたFRPの特徴を積極的に活用した新しい構造物の試設計や、FRP複合構造物・部材の力学性能の評価に関する検討を行う必要がある。そこで、本小委員会では、FRP複合構造物に関する以下の3つのテーマについて検討を行うことを目的とする。

- ①他分野の研究成果からの土木分野とは条件の異なる引用データをFRP複合構造物へ適用する場合の妥当性の検証、FRP複合構造物・部材の力学的な評価方法（試験方法）の調査と開発
 - ②2014年制定複合構造標準示方書によるFRP複合構造の試設計とその妥当性、およびFEMを利用した設計方法の検討、新しいFRP複合構造物の試設計とその製作・製造方法の調査
 - ③FRP複合構造物の劣化・点検・診断・補修方法の調査
7. 応募方法と応募締め切り：本委員会に参加を希望される方は、氏名、所属、連絡先住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスの他、本小委員会に参加を希望される理由や期待することを明記の上、E-mailで下の宛先まで、上記の応募締切日までにお申し込み下さい。

申込み先：複合構造委員会「FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会」

幹事長 橋本国太郎（神戸大学大学院 工学研究科）

E-mail：hashimoto@person.kobe-u.ac.jp

以上